

# 津山ふぁみ・さぽろニ通信

NO.65 2020/11月

新型コロナウイルス感染症が世界中に感染拡大し、私たちの生活は大きく様変わりしました。

当初、学校などが休校になったことで、中には、支援が必要な依頼会員もおられました。ファミ・サポの利用は予想以上に減少していきましました。提供会員さんからは、「困っている会員のサポートをするよ」との声もいただき、両者の思いを尊重した上で通常の活動を続けることができました。不安な中にもこの感染症のことが徐々にわかり「新しい生活様式」を取り入れた日常生活の習慣ができ始めました。

ファミ・サポでも、3月から延期していたサポート講習会を9月に開催し、それを皮切りに対策を取りながら講習会を開催しています。

この経験したことのない難局を医療、福祉、教育などの現場で働く方々、その他の職種の方々、また、ファミ・サポ会員の皆さんとも力を合わせて乗り越えたいと強く思います。

## 鏡野町の提供会員研修・交流会開催報告

8月29日、鏡野町中央公民館で初めての研修・交流会を行いました。津山からは、サブ・リーダーの皆さんに参加していただきました。

研修では、講師に日本ボイスマネジメント協会代表の高橋れいさん(写真下)をお迎えして、マスクでも、オンラインでも、好印象になる話し方を学びました。

その後の交流会では、グループに分かれて話し合いを行いました。

鏡野町の方が、ファミ・サポを利用できるようになって1年4ヶ月。

鏡野町にもサブ・リーダー(「会員のページ」のコーナーで紹介)が1名誕生し、町の担当者と連携して活動しています。

なお、ファミ・サポについてのお問合せは下の番号へ。

鏡野町役場 保健福祉課 子育て支援係  
TEL:0868-54-2986



## 参加者の感想

今年はマスクをつける機会が多くて、表現がしにくかったり、相手の言葉をうまく聞き取れなかったりして困っていた。

うなずくことやまゆげを動かしたらいいと知ってとても勉強になった。今までまゆげを意識したことがなかったのでこれからは、意識して発信しようと思った。

津山の先輩方のお話が聞けて、気持ちが楽になった。

利用した体験者が増えて知名度が高まるといいなと思う。

いろいろな立場の方が参加されていて、それぞれに思いを行動にして活動されている姿に刺激を受けた。ファミ・サポ会員として気負わず続けたいと思った。